

ビジョンメガネ社長 安東晃一

大阪国際大学卒業。平成8年にビジョンメガネ入社。子会社の社長等を経て25年ビジョンメガネホールディングス社長に就任。同年の民事再生手続きの後、同社の年商を約50億円にまでV字回復させた。

萩野屋6代目社長 高見澤志和

平成12年慶應義塾大学法学部卒業。15年に萩野屋へ入社し、専務取締役を経て24年に6代目社長就任。社内改革を推進する一方、新商品の開発や首都圏をターゲットにした新規事業を展開。30年同大学院システムデザイン・マネジメント研究科修了

安東 私はこれまで「**やらずに悔やむよりも、やってみて悔やむ**」という言葉が大事にしてきました。何か著名人の言葉のように聞こえるかもしれませんが、これは私が子供の頃大好きだった漫画『キャプテン翼』に出てきたあるキャラクターのセリフなんです(笑)。

この言葉は入社した時からずっと大切にしていまと思うとクジ引きで子会社の社長になり、倒産した会社の経営を引き受けたのも結果的によかった

と思っています。万一、失敗していたとしても、もしあの時逃げていたら必ず後悔したことでしょう。

私は思うんです。**貧乏クジを引いたり、嫌な役回りが巡ってくるのが人生にはあります。しかし、その人だったらできるからこそ、それが巡ってくるのではないかと。その信念があったから一歩を踏み出せたのではないかと思います。**

高見澤 いまのお話、私も全く同感です。**私は自分なりの言葉で「チャレンジ、チャンス、チェンジ」と言っています。何事もやってみなくては結果は出ませんし、やることによってチャンスが巡って状況も変化していく。**

やらずに後悔したくないという思いは安東さんと同じで、もし駄目だったらすぐにやめたらいいという気持ちで私はやっているんです。うまくいけばそれでいいし、うまくいかなくてもそこから何かを掴み(つかみ)取ったらいい。

安東 その通りですね。

高見澤 もう一つ、ドイツの宰相だったビスマルクが「**愚者は経験から学び、賢者は歴史から学ぶ**」と言っていて、この言葉も私の指針です。**自分の経験だけを基準にするのではなく、社の歴史やいろいろな方の話、本や雑誌の知識などを吸収しながら一日一日成長していくことも、経営者である自分の役割だと思っています。**

